

テーマ	全経対策（Ⅶ）：自己受為替手形・自己宛為替手形・荷為替手形
-----	-------------------------------

1. 次の取引について振出人と名宛人の両者側の仕訳を示しなさい。

- (1) 仕入先楽音寺商事に対する買掛金 ¥300,000 について、指図人楽音寺商事、名宛人当社とする為替手形を振り出して、交付した。

	借方	貸方
振出人側		
指図人側		

2. 次の取引について売主側と買主側の両者の仕訳を示しなさい。

- (1) 楽音寺商事は得意先八尾商事へ商品 ¥1,000,000 を船便で発送し、そのさい、取引銀行で額面 ¥500,000 の荷為替を取り組み、割引料 ¥10,000 を差し引かれ、手取金は当座預金とした。ただし、八尾商事は船荷証券を受け取ったのみで商品はいまだ到達していない。

	借方	貸方
楽音寺商事		
八尾商事		